京都産業大学　全学部・学環共通 入学前教育のご案内

～スーパー英語の学習の流れ～

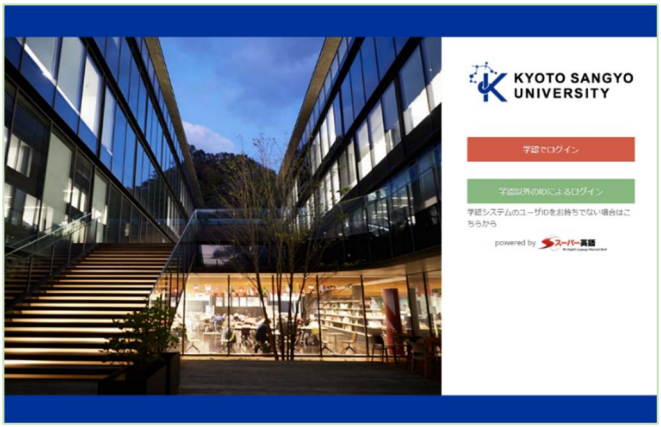
学習教材の特徴・使い方について

この教材はスーパー英語「Academic Express 3」という製品がベースになっています。
ログイン後の学習教材の学習方法などが動画などでも説明されていますので、学習の前に確認してください。
アクセス URL　https://www.supereigo.com/academic3/student_manual/

入学前教育の始め方

教材はインターネットからアクセスできます。お手持ちの PC やスマートフォンを使って、以下の URL からアクセスしてください。

アクセス URL：https://senglish.kyoto-su.ac.jp/student/main/login/



スマートフォンはこちらから

※ログイン画面についてはアクセスごとに画像が変わります。
※ログイン時には、「学認以外の ID によるログイン」を選択後、指定されたログイン ID とパスワードでログインしてください。
・ログイン ID：「27」+受験番号（６桁）（例：「27」+受験番号 123456→27123456）
・パスワード：各自の「生年月日（８桁）」（例：2008 年 5月1日→20080501）
※アクセスが集中すると、動作が遅くなる場合があります。その場合は、時間をおいてから再度アクセスをしてください。

学習手順について

STEP 1　自分の英語のレベルを確認しよう！

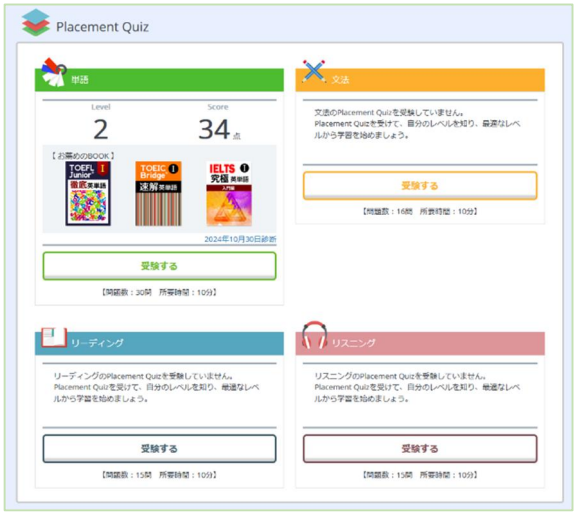
英語の学習においては、自分のレベルにあった学習教材を利用することで効率的に学習することができます。このシステムでは、自分の英語力を測ることができるように、「Placement Quiz」という機能が用意されています。Placement Quiz は「単語」「文法」「リーディング」「リスニング」の４つのカテゴリに分かれていますが、それぞれ 10 分程度の問題ですので、他の教材にアクセスする前に一度すべてのカテゴリを受験してください。

受験後には、右の図のように、自分の学習レベルとテストのスコアが表示されます。レベルの目安として

レベル１：小学校・中学校レベル（英検４級・５級）
レベル２：中学校・高校レベル（英検３級・準２級）
レベル３：大学受験レベル（英検２級程度）

と考えてください。

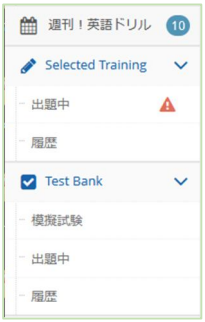
最初の結果が悪くても、この教材でコツコツ学習を続けることで英語力をアップすることができますので、ぜひ定期的にテストを受けてください。



STEP２　自由に学習してみよう！

このオンライン学習システムには 1000 時間を超える学習教材が搭載されています。学習教材は、「Training Bank」のメニューからアクセスできます。ここには、「Vocabulary Bank」や「Grammar Bank」「Reading Bank」「Listening Bank」「英語道場」といった様々な教材に自由にアクセスすることができます。特に、手軽に学習できる「Vocabulary Bank」やリスニング力を強化する「ディクタン」などはこの教材のベースとなりますのでスキマ時間などを使って、うまく活用してください。

STEP３　課題学習に取り組もう！



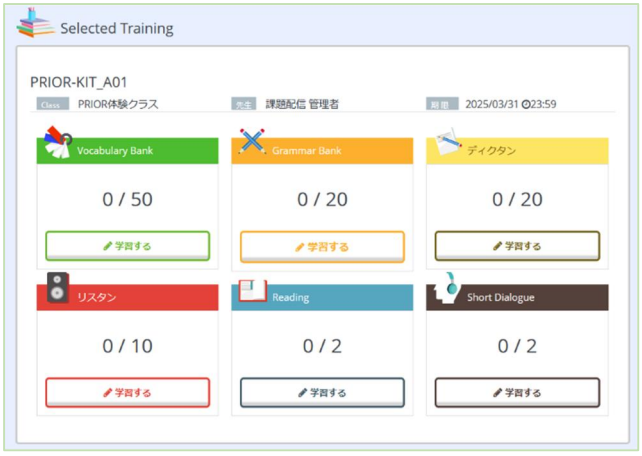
入学前教育のためにオリジナル課題として、「Selected Training」を用意しています。メニューの中心部にある「！」の記号が目印です。このメニューを選択すると、

「入学前教育Ａ」と「入学前教育Ｂ」が選択できるようになっています。「入学前教育Ａ」は教材の「レベル２」と「レベル３」の学習教材で構成されています。「入学前教育Ｂ」は教材の「レベル３」と「レベル４」を組み合わせた教材となります。

Placement Quiz の結果を参考に、**<u>自分のレベルにあった課題を選択</u>**してください。

「入学前教育Ａ」を選択すると、右のような画面が表示されます。学習教材は全部で 10 個用意しています。
ここでは、「学習する」のボタンを選択することで、学習を始めることができます。





学習を選択すると、左の図のように、教材の一覧と学習期限などが確認できるようになっています。

「入学前教育Ａ」では、

Vocabulary Bank	50 問
Grammar Bank	20 問
ディクタン	20 問
リスタン	10 問
Reading	２問
Short Dialogue	２問

を用意しています。1 つのユニットを 1 週間程度（1 週間で 1 時間程度の学習時間確保を目標）としていますが、繰り返しの学習で英語力をうまく定着させていくこともできますので、空いた時間をうまく活用して、学習に取り組んでみましょう！

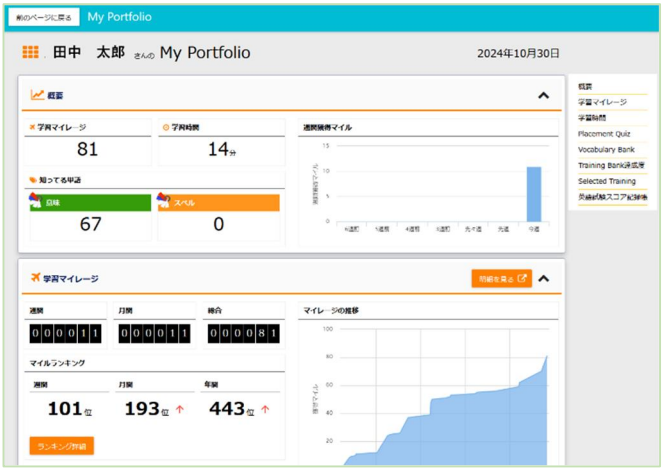
STEP４　学習を振り返ろう！

　このシステムには様々な教材が用意されており、どこからでも学習ができるメリットがありますが、自分がどのくらい学習をしているのかが、わかりづらく感じるかと思います。そこで本システムでは、幅広く学んだ学習を総合的に分析できるように、「My Portfolio(マイポートフォリオ)」という機能を用意しています。

　右図がそのサンプルです。

「My Portfolio」では学習時間の合計や学習量を独自に定義した「学習マイレージ」などに加え、「Vocabulary Bank」で学習した単語数や、「Placement Quiz」の結果、「Training Bank」の達成度など一覧で確認することができます。**目標は、毎日 10 分から 15 分の学習を継続的に行うことです。**継続的に英語教材に触れることで、定着度も向上し、英語力をスムーズにアップすることができます。

　STEP３で紹介した、Selected Training の課題の進捗も見ることができますので、ぜひ、参考にしてください。



本プログラムに関する問い合わせについて

問い合わせ先：京都産業大学　教育支援研究開発センター事務室
受 付 時 間：８:50～16:45（13:00～14:00 除く）（月～金）
連　絡　先：075-705-1729
メールアドレス：koto-kyoiku@star.kyoto-su.ac.jp